



Weekly Market Report

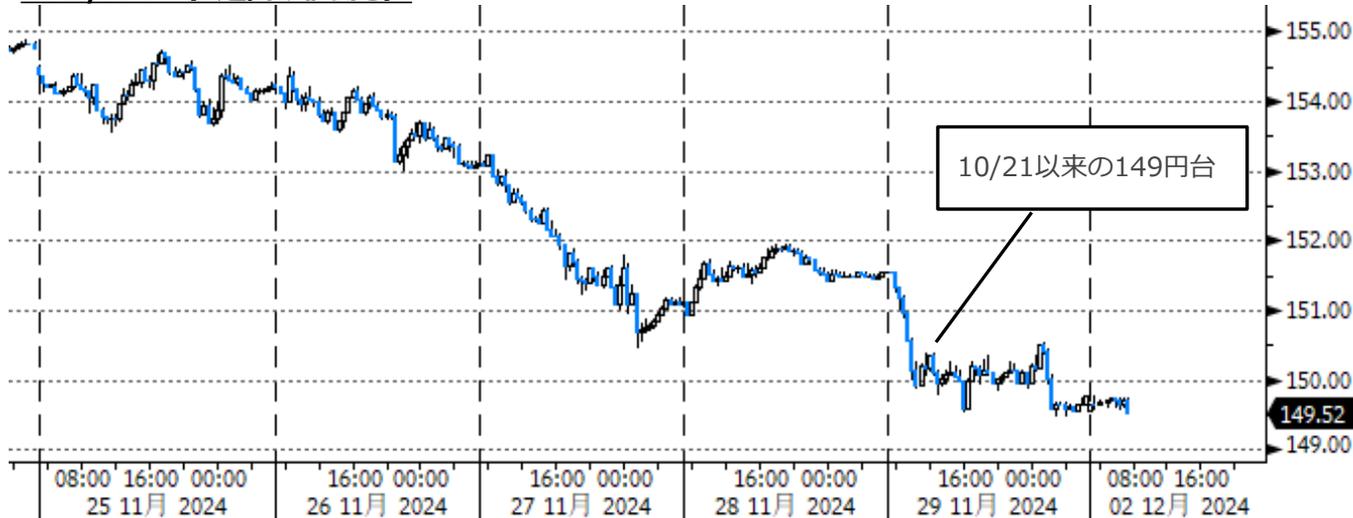
Dec 2, 2024

FX, JPY Interest Rate, Topics

1. 為替相場概況

10月21日以来の149円台まで円高ドル安進行

USD/JPY (1週間の値動き)



USDJPY Curncy (USD-JPY X-RATE) USDJPY(1W) 20 日 30 分

Copyright© 2024 Bloomberg Finance L.P.

02-Dec-2024 07:52:10

(出所) Bloomberg

コメント

先週のドル円相場は、円高ドル安進行し10月21日以来の149円台を付けた。週初は11月22日にトランプ次期大統領が財政規律派とされるベンセント氏を次期財務長官に指名したことを受け153円台に下落するも、ベンセント氏によるドル高容認発言が伝わったことで154円台まで戻した。その後、トランプ次期大統領の関税発言から貿易摩擦懸念が意識されたことや中東情勢の緊張が高まったことから152円台まで下落。週中からは、日銀12月会合での利上げ期待の高まりや米国感謝祭休日ポジション調整に伴うトランプトレード巻き戻しなどにより150円台まで下落。週末には、東京都区部CPIの上振れ、植田日銀総裁のタカ派発言を報じる報道により149円台まで下落し越週となった。今週は米雇用統計などの重要指標の公表、日米中銀関係者の講演など重要イベントが予定されている。12月FOMCの利下げ期待が高まれば、さらに円高ドル安進行する可能性もあるだろう。(市場営業部/堀)

今週の経済指標 (予定)

日付	イベント	予想
12/2(月)	(米国) ISM製造業景況指数	47.6
12/3(火)	(米国) JOLT求人	747.0万
12/4(水)	(米国) ADP雇用統計	15.8万
12/4(水)	(米国) ISM製造業景況指数	55.5
12/6(金)	(米国) 雇用統計	-

USD/JPY (5年間)



USDJPY Curncy (USD-JPY X-RATE) USDJPY(1Y) 日足 03OCT2019-02DEC2024
Copyright© 2024 Bloomberg Finance L.P.

(出所) Bloomberg

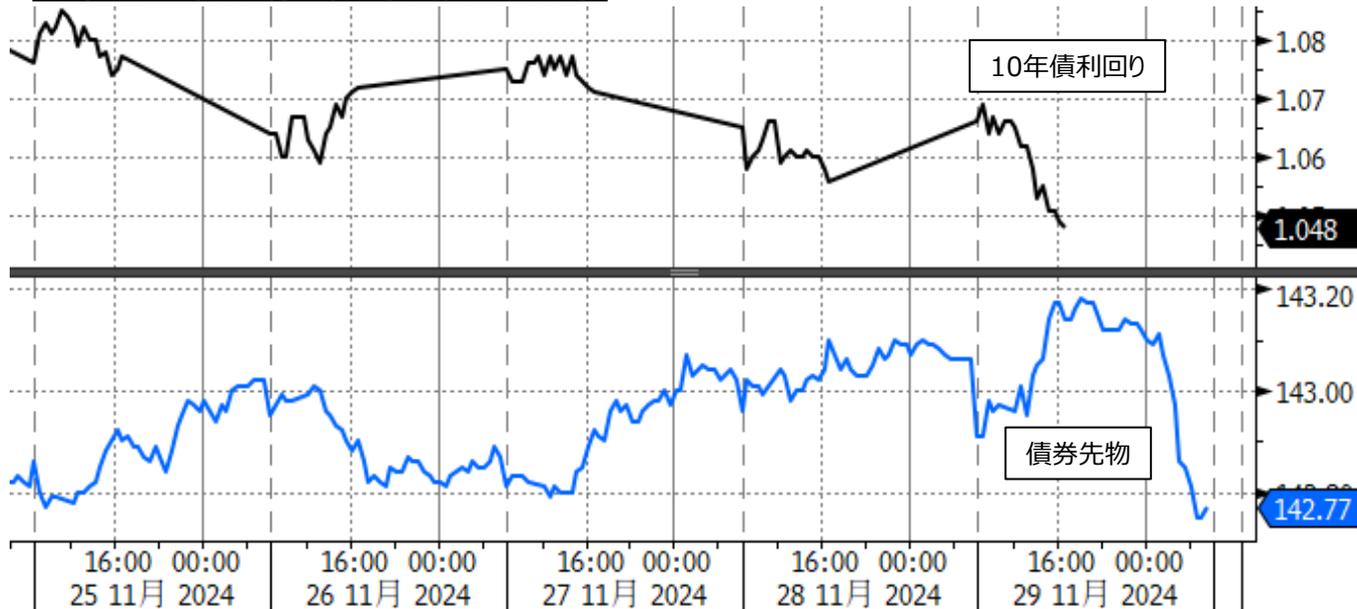
今週のレンジ予想 (USD/JPY)

予想者	今週のレンジ	予想のポイント
下出康平	148.50 – 151.50	ブラックアウト期間入りを前にしたパウエルFRB議長とウォラーFRB理事による講演に注目。発言次第では一段の円高なるか。
松栄俊樹	149.50 – 150.50	日銀の利上げ観測の高まりを受けて上値は重い展開となるか。一先ずは今週の米雇用統計の結果に注目したい。

2. 円金利相場概況

先週末の植田総裁のインタビュー記事から先物大幅下落。今週は米経済指標に注目

10年国債金利と債券先物（1週間の値動き）



GJGB10 Index (日本国債10年) JGB.F 20 日 30 分 Copyright© 2024 Bloomberg Finance L.P. 02-Dec-2024 08:05:28

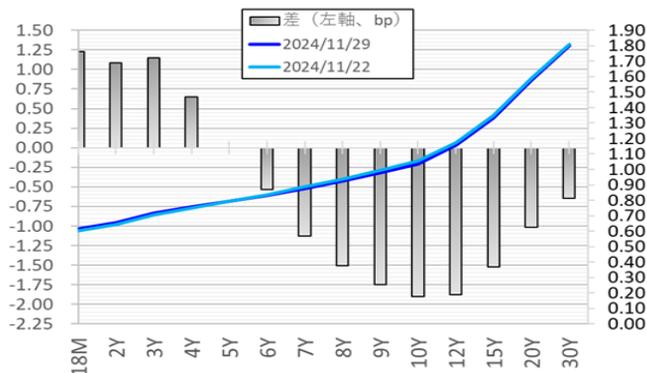
コメント

(出所) Bloomberg

先週初は前週末にトランプ次期米大統領が財務長官に財政タカ派とされるスコット・ベッセント氏をしたことを受け、トランプ・トレードの巻き戻しが入り、米長期金利は大幅に低下、10年国債金利も買い優勢の展開。その後も、米国の関税関連のニュースでリスクオフムードとなった。国内材料では、27日に40年国債入札が軟調な入札結果となったことから超長期主導で金利上昇。29日に実施された2年国債入札についても、軟調な結果となったが、その後は時間外の米長期金利の低下と月末買いから、幅広い年限で金利低下。先週末は日経新聞が植田総裁のインタビュー記事を公開。植田総裁は経済データが想定通りに推移しているという意味では次の利上げが近づいていることを認めており、早期利上げの期待を高める内容だった。これを受けイブニングの先物は引けから30銭程度低下して戻ってきている。今週は、米国で雇用関連の経済指標の公表が予定されている。連日の公表となるため、結果を見て荒い値動き似なると予想している。国内では、10年、30年債国債入札が予定されており、12月の日銀金融政策決定会合を控えるなかで、どの程度の需要が確認できるかには注目しておきたい。(市場商品部/金利MMG)

金利スワップ変化（1週間）

(%)



10年円金利スワップ推移（5年間）

(%)



JYS010 Curncy (JPY SWAP OIS 10Y) Yen SWAP 5Y 日足 03OCT2019-02DEC2024 Copyright© 2024 Bloomberg Finance L.P. 02-Dec-2024 07:55:24

(出所) Bloomberg

今週のレンジ予想（10年国債利回り）

予想者	今週のレンジ	予想のポイント
遠藤風翔	1.02% - 1.12%	週末の植田日銀総裁のタカ派発言を受けて、今週の円金利は一転上昇地合いを予想。6日の米雇用統計にも注目したい。
亀田則子	1.03% - 1.11%	今週は10年債、30年債の入札など需給イベントに注目。12月金融政策決定会合を控える中、円金利低下は限定的と予想。

3. 今週のトピックス

英ポンド相場動向

政府の財政拡大策でインフレ懸念が継続。BOEの利下げペース鈍化で英ポンドは底堅い展開か

<英国経済の状況>

英国では、7月に政権交代を果たした労働党政権が経済再生を目的として、向こう5年間で400億ポンドの増税と赤字国債の発行を組み合わせた700億ポンド規模の歳出拡大を計画しており、景気回復への期待がある一方でインフレへの懸念も再び高まってきている状況だ。

インフレについては、10月のCPIが総合で前年比+2.3%（前月+1.7%）、コア指数は前年比+3.3%（前月+3.2%）と減速ペースが緩やかになっているうえ、サービス指数も前年比+5.0%と下げ渋っている。BOE（イングランド銀行）は政府の財政拡大策がインフレ率を最大0.5%押し上げる可能性があるとしており、2025年のインフレ予測値は2.7%に上方修正している。

また、11月のPMI（購買担当者景気指数）は、総合が49.9（前回51.8）、製造業が48.6（前回49.9）、サービス業が50.0（前回52.0）と、全てが好不況の分かれ目となる50以下となった。雇用が縮小しているほか、増税への懸念から製造業の先行きに悲観的な見方が強まっているといえる【図表1】。なお、英国の2024年7-9月期実質GDP成長率は前期比+0.1%、前年比+1.0%と予想を下回る結果となったが、BOEは政府の財政拡大策を受けて2025年のGDP成長率は+1.5%に上昇するとみている。

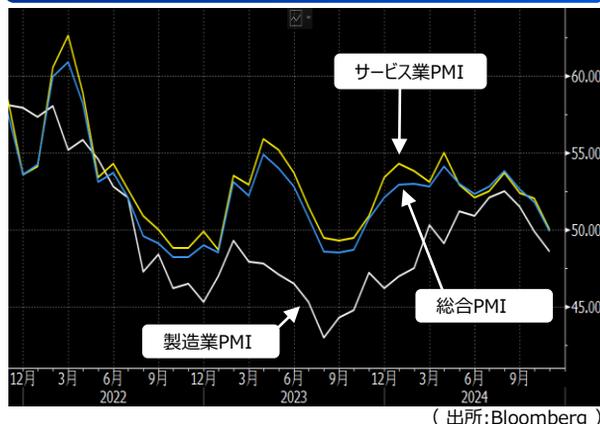
<イングランド銀行の金融政策>

BOEは、2024年11月の会合で8月に続く25bpの利下げを実施し、政策金利を4.75%とした【図表2】。ペイリー総裁はディスインフレは引き続き進展しているとしたものの、政府の大型財政拡大策でインフレ率は押し上げられるとみており、BOEの利下げペースは緩やかなものとなりそうだ。市場では次回の利下げは2025年3月で、2025年末の政策金利水準は3.9%が見込まれている。英国10年金利は財政拡大策を受けて一時4.6%まで急上昇したもののその後は低下基調であり、英国金利はほぼ米国と同水準での推移となっている。

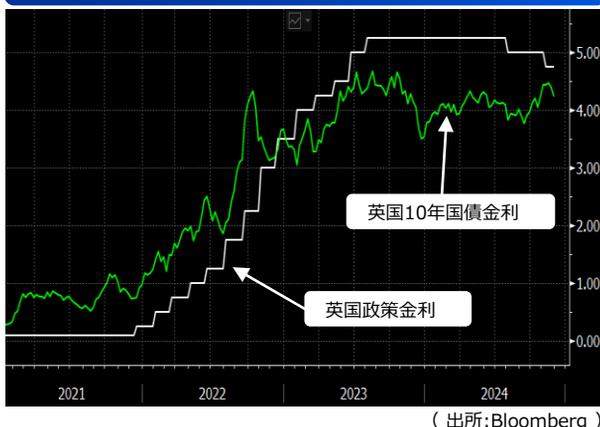
<英ポンド相場の見通し>

英ポンドの対ドル相場は、当面底堅い展開が見込まれる。トランプトレードによるドル買い圧力やイギリスの貿易赤字がポンド売り材料となるものの、BOEの利下げペース鈍化で政策金利の高止まりが見込まれることに加えて、財政拡大による景気回復への期待もポンド相場を下支えする。英ポンドの年初来対ドルパフォーマンスは0.0%と、主要国通貨の中ではドルと同程度の強さとなっており、シカゴIMMの投機筋ポジションも4万枚程度のネットロングで英ポンドを売る動きは限定的となっている【図表3】。当面のレンジは対ドルで1.24-1.30、対円では185-197円を想定している。（チーフ・マーケット・ストラテジスト／諸我 晃）

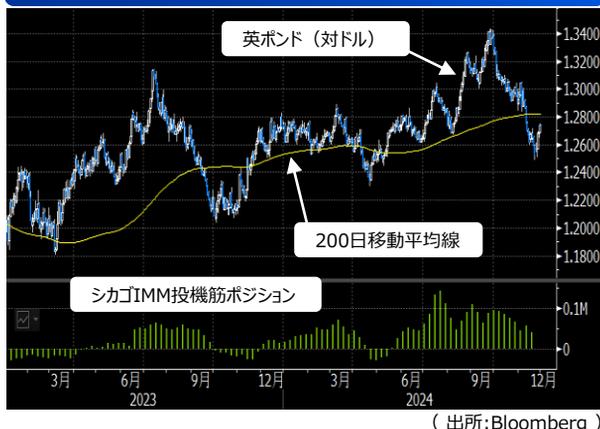
【図表1】英国の購買担当者景気指数（PMI）



【図表2】英国の政策金利と10年国債金利（%）



【図表3】英ポンドドル相場とシカゴ投機筋ポジション



ご留意事項

- ・本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の申し込みでも、取引締結の推奨でもなく、売買若しくは何らかの取引を行うことを助言したり、または勧誘したりするものではありません。
- ・本資料の内容につき、当行はその正確性及び完全性を保証するものではなく、一切の責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身のご判断をお願いします。
- ・本資料に基づき、お客さまが投資のご判断をされた結果に基づき生じた損害・損失等については、当行は一切責任を負いません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法により保護されております。無断で本資料の全部または一部を複製、送信、転載、譲渡および配布することはできません。
- ・本資料に掲載された各見通しは本資料作成時点での各執筆者の個人的見解に基づいており、それらは必ずしも当行の見解を反映しているとは限らず、また、予告なしに変更される場合があります。



商号：株式会社あおぞら銀行（登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号）
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会